持つ「仲間」を意味





令和7年度 栃木県 高次脳機能障害ピアサポーター養成講座

栃木県では、高次脳機能障害のある方のご家族同士が話し合う場において、同様の立場の経験者として、互い の体験を分かち合いながら話を聴いて必要な情報を提供したり、障害についての理解を広げる活動をしていただく ピアサポーターの養成講座を開催します。 プレア(peer):同じ立場や境遇、経験を

【受講について】

- ○受講料は無料です。
- ○高次脳機能障害児者との生活経験があるご家族なら、どなたでも受講が可能です。
- ○高次脳機能障害のある方との生活に役立つ知識を得ることができます。
- ○原則、全3回の受講をお願いいたします。全日程の参加が難しい場合は、下記担当までご相談ください。

【スケジュール】

	時 間	テーマ(仮題)及び講師	会場	備考
【第1回】 9/19(金)	10:00~10:20	「栃木県の施策説明」、オリエンテーション 担当:障害者総合相談所職員	とちぎ福祉プラザ 402会議室 - (宇都宮市 若草1-10-6)	
	10:30~12:00	「高次脳機能障害の基本的な理解と対応」 講師:栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション部副部長 作業療法士 土屋 綾子氏		[%1]
	13:00~14:30	「高次脳機能障害当事者本人の想い」 講師:いちごの里めぶきファーム ピアサポーター・職業支援員 唐沢 淳子 氏		
	振り返りシー	ト等記入(後日、Web フォームからの回答も可)		
【第2回】 10/6(月)	10:00~12:00	「聴くということ」 講師:栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏	栃木県立リハビリ テーションセンター 3階大会議室 (宇都宮市 駒生町 3337-1)	[※2]
	13:00~14:30	「家族が高次脳機能障害と言われたら 〜活用可能な制度や社会資源について〜」 講師:相談支援センターきらり 相談支援専門員 菱沼 勲 氏	障害者総合相談所 打合室 ※栃木県立リハビリ テーションセンター内 (宇都宮市	[※1]
	振り返りシート等記入(後日、Web フォームからの回答も可)		駒生町 3337-I)	
【第3回】 10/22(水)	10:30~14:30	「高次脳機能障害とピアサポート」 ピアサポーターのこころとそのケア 講師:栃内第二病院リハビリテーション部副部長 公認心理師 山舘 圭子 氏	とちぎ福祉プラザ 301会議室 (宇都宮市 若草1-10-6)	
	振り返りシート等記入(後日、Web フォームからの回答も可)		ルデ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

【※1】 高次脳機能障害家族教室と合同開催。 【※2】発達障害ピアサポーター養成研修と合同開催。

- ○受付は、各研修の開始 15 分前からです。各日共に1時間程度の昼休憩を予定しています。
- ○講座には、前年度の受講者や、支援者が参加することもありますので、ご了解願います。
- ◎全3回の講座を受講し、ピアサポーターとして登録いただいた方を対象に、令和8年3月頃、フォローアップ研修の 開催を予定しています。



昨年度の講座受講修了者の方々には、「病院主催の家族教室」、「福祉関係者向け研修」、「地域住民を対象とした講座」、 「当所主催の県民向けセミナー」等で活動いただき、いずれも好評でした!

※ピアサポーターとして活動する際には、特定の治療法、代替療法、健康食品の推奨や、特定の政治団体、宗教団体の 支持等の行為はお断りいたします。

【お申込み・問合せ先】 お気軽にお問合せください。 栃木県障害者総合相談所 発達·高次脳機能障害支援課 (受付時間:平日8:30~17:15) **☎**028−623−6114



Web フォームでの申込も可

申込み期限:9月12日(金)

~講座概要~

【第1回】9月19日(金曜日)



職員によるピアサポーター事業に関する説明の後、講話では、高次脳機能障害に関する基本的な内容や当事者 ご本人からのメッセージを聴くことにより、障害に対する理解を深めることを目的とします。

「高次脳機能障害家族教室」と合同開催します。

【第2回】10月6日(月曜日)

午前の部は、「発達障害ピアサポーター養成研修」と合同開催します。ピアサポート活動を行う上で知っておきたい話の聴き方、心構え等について演習等を交えて学びます。

午後の部は、高次脳機能障害のある方が利用可能な制度について、障害福祉サービスを中心に活用方法を学びます。「高次脳機能障害家族教室」と合同開催します。

【第3回】10月22日(水曜日)

高次脳機能障害のある当事者本人や家族のピアサポート活動を継続的に支援している講師から、ピアサポート活動の意義や家族自身のこころのケアの大切さについて学びます。

